

あなたの会社のメール、 「誰でも名乗れる状態」になっていませんか？

DMARCは、自社ドメインを悪用したなりすましメールから
顧客・取引先・自社ブランドを守る仕組みです。



郵便局にたとえるDMARCの仕組み

① 住所・封蝋確認 (SPF・DKIM認証)



郵便局員が、送り主の住所に紐
付く氏名と封蝋（印）を確認。
（送信元IP・電子署名の検証）

② 名義の照合 (アライメント確認)



送り主の氏名と、郵便局が持つ
送り主リストを照合。
（送信元ドメインの検証）

③ 怪しい手紙に対応 (ポリシー処理)



異常発見時は、定めたマニユア
ルに沿って厳正に対応。

③の対応（ポリシー設定）

① None（記録のみ）



記録し、宛先に送付
（＝顧客が受信）

② Quarantine（隔離）



不審物として保管
（＝顧客の迷惑フォルダへ）

③ Reject（拒否）



配達しない
（＝顧客に届かない）

DMARC導入の 主なメリット

顧客・取引先の保護



なりすましによる詐欺や
情報漏えいを防止

ブランド・信頼の維持



自社ドメインの悪用を防ぎ、
企業イメージを守る

メール到達性の向上



迷惑メール判定を減らし、
自社メールを届きやすく

今すぐ
チェック！

設定が「None（記録のみ）」のまま放置されていませんか？

- DMARCポリシーの設定（Noneのままか？）を確認する。
- レポートを確認し、自社ドメインを名乗るメールを把握する。
- 把握できたら、Quarantine又はRejectへの移行を検討する。



パスワードだけの認証はもう限界です。

自社サービスにパスキーを導入し、
安全で快適なログインを実現しましょう！



手紙のやり取りにたとえるパスキーの仕組み

① 印鑑作成

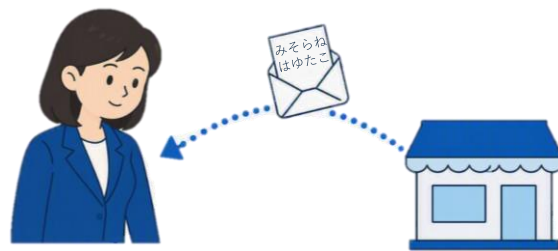
(鍵ペア作成)



利用者が印鑑を作成し、金庫に保管。
印影をサービス事業者へ提出。
(印鑑 = 秘密鍵、印影 = 公開鍵、金庫 = スマホ)

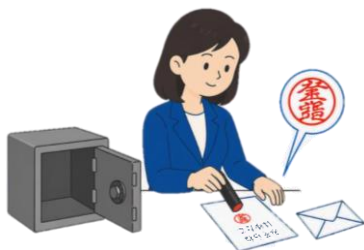
② 手紙の送付

(認証要求)



サービス事業者がランダムな文字列の手紙を送付。
(チャレンジ送信)

③ 手紙に押印 (本人確認・電子署名)



利用者が顔認証や指紋認証を行い、
金庫から印鑑を取り出して押印。

④ 印鑑の照合

(署名検証)



サービス事業者が
・ 登録済の印影と一致するか
・ 手紙の内容が②と一致するかを確認。

漏えいリスク低減



秘密鍵は端末の安全な領域に保存
されるため、漏えい被害を抑制

ブランド・信頼の維持



偽サイトでは認証できないため、
自社ブランドの悪用を防ぎ、
企業イメージを守る

利用者満足度の向上



パスワード入力不要。
顔認証・指紋認証ですぐログイン

パスキー導入の 主なメリット



パスワードから、パスキーへ。

パスワード漏えいやフィッシングのリスクから利用者を守るために。
より安全な認証方式として、パスキーの導入を御検討ください。



SNSやメールの乗っ取り・なりすましに注意!!

偽



コンビニで電子マネー1万円分買って
その番号教えて

私のSNSアカウントが乗っ取られて
友人宛てにメッセージが送られた!

偽



090●●●●●●●●

【■■■庁】至急のお手続きが必要です。
内容をご確認ください。
<https://example...>

私の携帯電話番号から勝手に
メッセージが送られた!

From: (株) ■■■
件名: 資料のご送付

いつもお世話になっております。
添付の資料を送付いたします。
ご査収いただきますよう、よろしく
お願いいたします。

[資料.zip](#)

(株) ■■■ 担当 ●●●

偽

私の会社の従業員になりました
メールが取引先企業に届いた!

■ 乗っ取り防止・早期発見のために

- パスワードを使用する場合は、複雑で推測しにくいものに設定する
- 使用するパスワードは、他のアカウントで使い回さない
- 多要素認証やログイン通知、セキュリティサービスを利用する

■ 乗っ取り被害に遭った時は

- ログインできる場合は、新しいパスワードに変更する
- 自分以外の見覚えのない端末は、全てログアウトする
- アカウントの登録情報や認証方法が変更されていないか確認する

■ 乗っ取り・なりすまし被害に遭った時は

- 交流相手に注意喚起する
- サービス提供会社に相談する

○ 警察に通報・相談する

▶ 最寄りの警察署又はサイバー犯罪相談窓口
<https://www.npa.go.jp/bureau/cyber/soudan.html>

